

## 第五回 品川区まちづくりマスタープラン策定委員会

日 時：平成24年9月28日（金） 14:00～16:00

場 所：議会棟 6階 第一委員会室

### 議事次第

議題 （全体計画の追加内容...参考資料1、2）について

<事務局より参考資料1、2の説明>

質疑応答

【越澤委員長】

ご意見などがあれば、お願いします。

【高村委員】

補助29号線の特定整備路線への指定を踏まえて戸越公園駅周辺を地域生活拠点に指定したのは良いと思いますが、地元への対応が課題だと思います。地元住民の補助29号線に対する認識が薄い中で、先に不動産業者が動いている状況があると聞いています。今後、補助29号線と沿道の整備方針が決定した際に円滑に進められるような環境づくりが必要だと思います。

【マスタープラン担当課長】

肝心な地元が知らないとのこと指摘ですので、情報を適切に伝え、地域の方々に理解を深めていただけるよう、丁寧な説明を東京都と連携して進めていきたいと思っています。

【越澤委員長】

まちづくりマスタープランの策定を契機として、戸越公園駅周辺を良いまちにするよう地元と行政が協力できると良いと思います。また戻って質問しても良いこととして、次の議題に進みます。地区別整備方針について、5地区のうち、まずは2地区について説明をお願いします。

議題 （地区別整備方針...参考資料3、品川区まちづくりマスタープラン（素案））について

<事務局より参考資料3、品川区まちづくりマスタープラン（素案）（品川地区・大崎地区）の説明>

質疑応答

【越澤委員長】

品川地区と大崎地区について、ご意見などがあれば、お願いします。

【早川委員】

品川地区・大崎地区については、開発が進んでいて、まちの機能としては活発になっているので問題ないと思います。ただし、補助29号線の整備については、災害に強いまちづくりは必要ですが、大崎からすぐの所に既存の住環境があり、歴史がある場所があるので、保全のバランスが重要だと思います。住宅地と商業地が入り交じるのは、品川地区と大崎地区の特性なので、その中でバランス良く進めることが必要だと思います。

【マスタープラン担当課長】

バランス感覚の必要性については、ご指摘の通りだと思います。補助29号線は延長3kmを超える計画ですので、それぞれの沿道特性を踏まえて必要な整備に努めていきたいと思っています。

【越澤委員長】

残りの3地区の整備方針と、計画の実現に向けての説明をお願いします。

<事務局より参考資料3、品川区まちづくりマスタープラン(素案)(大井地区・荏原地区・八潮地区)の説明>

議題 (計画の実現に向けて...品川区まちづくりマスタープラン(素案))について

<事務局より品川区まちづくりマスタープラン(素案)(計画の実現に向けて)の説明>

質疑応答

【越澤委員長】

ご指摘やご質問があれば、お願いします。

【野澤委員】

計画の実現に向けては、PDCAサイクルのように、適切に進行管理をして区民に公表することが必要だと思います。各事業が出来ているかどうか、分野毎に評価し、区民がチェックしても良いのではないのでしょうか。

各事業の予算要求の際には、マスタープランに位置づけがあるということを説明すると思いますが、区民にも分かりやすくなるように、区報などにも上位計画であるマスタープランの存在を示し、周知できると良いと思います。

136ページの「環境負荷の少ない交通の整備」については、自動車を減らし公共交通に誘導するなど、すぐに出来そうなことだけではなく、20年先に実現しそうなことについても担当課で検討する必要があると思います。

2ページの「まちづくりマスタープランの位置づけ」の図については、東京都住宅マスタープランとの関係についての記載を適切に修正してください。

各章の扉ページに、その章の内容について説明があると良いと思います。

地区別整備方針の分野別のアイコンについては、分かりやすく良いと思いますが、あくまでも重点を置く分野であり、それ以外の分野を全く含まないわけではないことを注釈として記載する必要があると思います。

**【マスタープラン担当課長】**

PDCAサイクルについては、既に事務事業評価の際に個別事業について実施計画の達成度を評価するシステムがありますので、改めてマスタープランに記載するかどうか検討したいと思います。

予算要求や区民の方への説明の際のマスタープランの活用については、ご意見を踏まえて活用したいと思います。

環境負荷の少ない交通の整備については、詳細を検討した上で記述したいと思います。

東京都住宅マスタープランとの関係については、適切に修正します。

扉ページへの説明の追加についても、対応したいと思います。

**【環境課長】**

交通については、今年度、環境計画の策定を進めていますので、整合性を取りながら進めていきたいと思います。

**【野澤委員】**

分野別の扉ページに、関連計画との関係性を記載できると良いと思います。

**【越澤委員長】**

意見を踏まえ、パブリックコメントまでに対応する内容とそれ以外を分けながら、前向きに対応しましょう。

**【大山委員】**

補助29号線の整備と、補助205号線の整備は関連しないのですか。

**【マスタープラン担当課長】**

210ページに未整備の都市計画道路について記載していますが、補助205号線は補助29号線に接続する補助線として整備実現に向けて取り組むことにしています。

**【大山委員】**

都としては、補助29号線以外は整備しないのですか。

**【都市計画課長】**

補助29号線と放射2号線は、都が木密地域の不燃化を進めるために都が施行する路線と

して特定整備路線に指定したものです。補助205号線と補助31号線は、区が施工する路線ですので、特定整備路線には含まれません。

【大山委員】

区として整備するのであれば良いと思います。また、滝王子通りを避難路として整備することですが、池上通りを越えた箇所が位置づけられていないのは問題ないのでしょうか。

【防災整備担当課長】

滝王子通りから広域避難場所の大井競馬場へは、滝王子通りから右折し、池上通りから補助31号線に左折し、大井競馬場に行く道を避難ルートとして位置づけています。

【高林委員】

補助29号線の整備には、何年程度かかるのですか。

【都市計画課長】

2020年までに完成する予定です。通常の都市計画道路と異なり、特定整備路線については、都が土地を買い、土地所有者が生活再建をしやすいように配慮しながら、整備を進めていくことになっています。

【高林委員】

8年という短い期間で整備できるのですか。

【都市計画課長】

都は整備を強力に進めるとしていますので、区としても木密地域の解消に向けて協力していきたいと思います。

【飯野委員】

マスタープランの内容については、良く出来ていると思います。ただし、補助29号線の整備にあたっては、空地や公有地も少なく、土地所有者の住み替えに課題があると思いますので、公益財団法人としても協力していきたいと思います。

【緑川委員】

165ページでは戸越公園駅周辺を地域生活拠点に追加していますが、226ページについても戸越公園駅周辺の位置付けを記載した方が良いと思います。

155ページでは、品川・天王洲アイル、大崎・五反田が「都 新拠点」となっていますが、158ページでは「新拠点〔都〕」となっているので、整合を取ってください。

【マスタープラン担当課長】

ご指摘の点については、整合を取り修正します。

【越澤委員長】

細かい事項については、担当課以外でも確認してもらいたいと思います。

**【浦山委員】**

JR社宅が老朽化していますが、取り壊した後の方向性があれば教えてもらいたと思います。

**【都市開発課長】**

JR社宅については、これまでもJRと区で定期的に勉強会をしていますので、今後も引き続き協議していきたいと思います。現時点では方向性は決まっていますが、協議の進捗に応じて区民の皆様にも説明していきたいと思います。

**【浦山委員】**

方向性が分かり次第、教えてもらいたと思います。

**【木下委員】**

109ページにはユニバーサルデザインについて記載がありますが、97ページの都市基盤の整備方針の中にも、ユニバーサルデザインは全体に関わる方針であることを記載した方が良いのではないのでしょうか。

107ページには、鉄道ネットワークの拡充やバス網の形成について記載がありますが、これらは一定程度進んでいますので、次にはホームドアの設置などについて具体的に記載した方が良いと思います。

また、110ページには歩道、交通施設のバリアフリー化の促進について記載がありますが、エスコートゾーンの整備についても、条件が整った箇所から進めるのはどうでしょうか。

**【マスタープラン担当課長】**

区は、ユニバーサルデザインの根幹理念に基づき、すべての人にやさしいまちづくり推進計画を定めて進めています。ご指摘の箇所については修正したいと思います。

**【中村委員】**

八潮団地ができた時から住んでいます。以前は居住者も若く、小学校も3つありましたが、現在は経年と共に変化してきています。ですが、3.11の大地震の際にも建物には特に異常がなかったので、改めて八潮団地を見直しました。

**【都市環境事業部長】**

八潮団地は、建物の老朽化と居住者の高齢化が進んでいます。ご意見を反映して、今後のまちづくりに活かしていきたいと思います。

**【越澤委員長】**

八潮団地についても、ニュータウンが高齢化したまちの一つとして、今後の住みやすさの持続が課題だと思います。

【佐藤委員】

空き家が多くなっています。防災面からは建て替える方が良いと思われませんが、再利用すると良い建物もあると思います。空き家の建替えや保存について方針があればお聞かせください。

また、幹線道路等の沿道では建物の耐震化をしていますが、鉄道沿線の建物については、耐震化は必要ないのでしょうか。

【住宅担当課長】

区内で増えている空き家や空き室を、いかにストックとして活用していくかは大きな課題です。現在は、住宅改善工事助成などにより、既存の空き家の有効活用を進めています。

【都市環境部長】

老朽化した空き家については防災面で問題があり、区では老朽空き家の除却費用を支援しています。ただし、空き家問題については、相続など様々な問題もありますので、個別に相談しながら対応していきたいと思います。

また、鉄道沿線の建物については、建築確認申請の際には指導していますが、緊急輸送道路沿道のように現状の建物の耐震化を促進する条例はありません。

【越澤委員長】

言葉の整合性について、210・212ページの未整備の都市計画道路については、4つの補助線の中でも強弱があると思いますので、全体としては「促進する」「推進する」という表現にした方が良いでしょう。

【マスタープラン担当課長】

ご指摘に基づき、修正したいと思います。

【越澤委員長】

文章表現の使い分けや整合性については、見直してもらいたいと思います。

【大山委員】

地震の際には幹線道路を通ってはいけないことになっていますが、現実的には車が渋滞し動けない状況になると思います。横道に曲がれば通れますが、大通りを越えて行けません。幹線道路を横断する動線も重要だと思いますが、何か対策はありますか。

【都市環境部長】

3.11の時には大変渋滞しました。一方、首都圏で大地震が発生した際には、緊急輸送道路は緊急車両の通行を優先するために道路規制がかかり、円滑な救助や救援が行われることになっています。道路の横断については、規定にはないと思いますが、区としても検討し支援していきたいと思います。

【本間委員】

文章表現の整合性や、ユニバーサルデザインの視点などの修正の他にも、現在事業が動いているものについては、動きに合わせて文章表現も修正が必要であると思います。この点については、12月下旬の次回委員会に修正したものを出せますか。

【マスタープラン担当課長】

12月下旬の次回委員会までに修正して提示したいと思います。

【本間委員】

委員の皆様には積極的な意見を頂戴し、ありがとうございました。野澤委員からのご意見につきましても、前向きに検討したいと思います。5回に渡ってご意見をいただき、いよいよパブリックコメントに進むことができます。委員の皆様には、前向きなご発言をいただき、計画通りパブリックコメントに入れることについて御礼を申し上げます。本日のご意見については、関係課を含めて再度確認し、12月下旬の委員会に修正したものを提示したいと思います。ありがとうございました。

【越澤委員長】

文章表現等については適切に修正し、複数の関係課にまたがる内容や、都との調整が必要な内容についても調整し、次回委員会に提示したいと思います。修正については、委員長に一任いただき、パブリックコメントに出しても良いでしょうか。

【全員】

異議なし。

【越澤委員長】

ご了承いただいたので、そのように進めたいと思います。次回委員会など、今後の進め方について説明をお願いします。

議題 (今後のスケジュールについて...参考資料4) について

<事務局より参考資料4の説明>

質疑なし

【越澤委員長】

委員会は次回第六回が最終委員会となるので、もし出席が難しい委員がいらっしゃる場合には、事務局から委員に事前に説明し、ご了解をいただいでください。第六回委員会が終わった後に、都市計画審議会と議会を経て、印刷物の完成は平成25年2月下旬を予定しているとのことです。他にご質問やご意見がありましたら、後日事務局までご連絡いただきたいと思います。

**【都市環境部長】**

本日は、ご議論いただき、ありがとうございました。いただいたご意見を、適切に反映したいと思います。講演会についても、委員の皆様にもご参加いただき、広く区民の皆様にご説明できればと思っておりますので、ぜひご協力をお願いしたいと思います。

**【越澤委員長】**

それでは、本日はここまでとします。

**【全員】**

ありがとうございました。